

中国などで旧正月スタート

中国などで春節(旧正月)に伴う大型連休が4日から始まった。千葉県内の観光施設は商機をつかもうと、訪日客向けの割引などに入力している。

東京ドイツ村(袖ヶ浦市)は5日から11日まで、イルミネーションイベントの来場者に、中国で厄よけとされるトウガラシのストラップをプレゼントする。5日と9、11日にはギョーザなど縁起物として春節の時期に食べることの多い料理を日替わりで無料で提供する。担当者は「日本にいなから中国の新年の雰囲気

## 訪日客向け割引に力

### 県内観光施設 特別イベントも

感じられるようにしたい」と話す。

鴨川シーワールド(鴨川市)は1日から、訪日外国人向けの割引キャンペーンを始めた。日本以外のパスポートを提示すると入場料が通常料金の半額となる。

団体の訪日客向けに割引をしたことはあったが、個人客向けは初めて。

ミニストップは1月24日から、成田空港の第1ターミナル内にある店舗で、中国の電子決済サービス「支付宝(アリペイ)」と「微信支付(ワイーチャットペイ)」を使えるようにした。3月から国内の全店舗に導入予定だが先行導入した。

千葉